



# 富岡製糸場総合研究センターだより

No. 9

(2021年11月発行)

富岡製糸場をもっと楽しむための豆知識をお届けします！

## 寄宿舎に設置された滑り台

首長館<sup>しゅちょうかん</sup>の西側、少し離れた場所に2棟並ぶ浅間寮<sup>あさま</sup>と妙義寮<sup>みょうぎ</sup>は、1940(昭和15)年に建築された女性従業員用の寄宿舎です。向かって左手の妙義寮を見ると、1階から2階へと斜めに続く黄色い手すりを確認できます。外から2階へ直接出入りできる階段のようにも見えますが、こちらは滑り台です。

1966(昭和41)年に作成された書類には「女子寮に非常用鉄製すべり台を設置し、防火管理に万全を期したい」とあります。この時に浅間寮、妙義寮を含めた女子寮3棟に非常時の避難経路確保のための滑り台が設置されました。さらに2階窓から直接外に避難できる滑り降り棒もこの頃に設置されたようで、妙義寮の南面窓に確認することができます。

このように建設時にはなかった2階から直接外部へ避難できる設備ものちの改造により整備されたことがわかります。これは第二次世界大戦後、新たな法令の制定や労働組合からの寄宿舎の近代化運動が活発化したことが背景としてあるようです。



妙義寮と浅間寮

◆ 発行 ◆

富岡市世界遺産観光部 富岡製糸場総合研究センター

